

高区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募に関する情報(令和2年10月21日～11月20日) 最終

【大匠海区漁業調整委員会】定数10人(漁業者代 0
 応募及び推薦を受けた者の数10人(漁業者代表6人 学立1人)
 応募した者の数0人(漁業者代表 人 学立 人 中立2人)
 応募区分
 1. 漁業者代表委員(定数6人)

推薦または応募の別	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業に関する意見を有すると認められる資格、実務経験等	漁業者等該当	漁業経営の状況			推薦をした者				推薦又は応募の理由
								漁業種類	主な漁業区域	住所又は事業場を有する地区	法人又は団体の名称及び代表者氏名(個人の場合は氏名、性別)	構成員の資格、要件等(個人の場合は職業、年齢)	構成員の数(法人又は団体の場合)	法人又は団体の活動目的	
団体推薦	伊瀬隆二	55	男	漁業	昭和57年6月～現在 平成17年12月～現在 平成28年6月～現在	泉佐野漁業協同組合 泉佐野漁業協同組合正組合員 泉佐野漁業協同組合監事	該当	底びき網漁業	大阪府地先海面	泉佐野市	大阪府漁業協同組合連合会 代表理事会長 岡 輝	【正会員】 この連合会の地区の全部又は一部を地区とする漁業協同組合等は漁業協同組合連合会又はこの連合会の地区内に住所を有する漁業生産組合 【水産資源管理に関する意見と実績】 平成3年から資源管理並びに資源管理委員会に属するとともに、資源管理のため選休日制、禁漁期、漁業規制の規制、小型漁船の漁獲等を導入しており、資源管理・回復のための知識が豊富で、取組実績がある。 【水産資源管理に関する意見と実績】 平成3年から資源管理並びに資源管理委員会に属するとともに、資源管理のため選休日制、禁漁期、漁業規制の規制、小型漁船の漁獲等を導入しており、資源管理・回復のための知識が豊富で、取組実績がある。 【正会員】 次に掲げる者 (1)法律に基づいて設立された協同組合(連合会を含む。)であって、この連合会の正会員の行う事業と関連の事業を行い、かつ、この連合会の地区内に住所を有するもの (2)この連合会の正会員たる漁業協同組合又は漁業協同組合連合会が主たる出資者又は構成員となっている法人(正会員及び(1)に掲げる者を除く。)	24名	会員が協同して経済活動を行い、所員員の漁業の生産活動の向上等おの事業の振興を図り、もつて所員員の経済的社会的地位を高めること。	・漁業に関する意見と実績 38年間底びき網漁業に従事し、地区の漁業の状況をよく理解している。 また、播量や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事業について、正しく判断する力を備えている。 ・水産資源管理に関する意見と実績 平成3年から資源管理並びに資源管理委員会に属するとともに、資源管理のため選休日制、禁漁期、漁業規制の規制、小型漁船の漁獲等を導入しており、資源管理・回復のための知識が豊富で、取組実績がある。 ・漁業経営、漁業協同組合の運営 泉佐野漁業協同組合では、平成28年から監事を経験するなど、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れ、中部地区を代表する人物といえる。 以上のことから、大匠海区漁業調整委員会の委員として適任と考える。
団体推薦	奥 浩幸	43	男	漁業	平成16年7月～現在 平成19年5月～ 平成25年4月 平成26年5月～現在	深日漁業協同組合正組合員 深日漁業協同組合理事 深日漁業協同組合副組合長	該当	船びき網漁業	大阪府地先海面	泉南郡岬町				・漁業に関する意見と実績 奥浩幸氏は、16年間船びき網漁業に従事し、地区の漁業の状況をよく理解している。 また、播量や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事業について、正しく判断する力を備えている。 ・水産資源管理に関する意見と実績 資源管理船びき網漁業管理委員会に属するとともに、資源管理のため選休日制、禁漁期、漁業規制の規制等を導入しており、資源管理・回復のための知識が豊富で、取組実績がある。 ・漁業経営、漁業協同組合の運営 深日漁業協同組合では、平成19年から理事を経験し、引き続き25年から7年間、副組合長を経験するなど、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れ、南部地区を代表する人物といえる。 以上のことから、大匠海区漁業調整委員会の委員として適任と考える。	
団体推薦	田中映治	67	男	漁業	昭和51年4月～現在 昭和60年6月～ 平成23年6月 平成23年6月～現在 平成23年8月～現在	大阪府鶴岡市兼網漁業協同組合正組合員 大阪府鶴岡市兼網漁業協同組合監事 大阪府鶴岡市兼網漁業協同組合理事 大阪府鶴岡市兼網漁業協同組合副組合長	該当	中型正寄網漁業	大阪府地先海面	岸和田市				・漁業に関する意見と実績 田中映治氏は、43年間中型正寄網漁業に従事し、地区の漁業の状況をよく理解している。 また、播量や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事業について、正しく判断する力を備えている。 ・水産資源管理に関する意見と実績 昭和29年から岸和田市の中型正寄網を兼む船田で構成する兼網漁業協同組合に属するとともに、資源管理のため選休日制、禁漁期、漁業規制等を導入しており、資源管理・回復のための知識が豊富で、取組実績がある。 ・漁業経営、漁業協同組合の運営 大阪府鶴岡市兼網漁業協同組合では、平成23年から理事を経験し、引き続き平成23年から9年間、副組合長を経験するなど、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れ、中部地区を代表する人物といえます。 以上のことから、大匠海区漁業調整委員会の委員として適任と考える。	
団体推薦	常松健弘	52	男	漁業	平成7年6月～現在 平成16年6月～現在	泉大津漁業協同組合正組合員 泉大津漁業協同組合監事	該当	すずき網漁業	大阪府地先海面	泉大津市				・漁業に関する意見と実績 25年間すずき網漁業に従事し、地区の漁業の状況をよく理解している。 また、播量や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事業について、正しく判断する力を備えている。 ・水産資源管理に関する意見と実績 平成8年から資源管理すずき網漁業管理委員会に属するとともに、資源管理のため、選休日制、禁漁期、産卵期の再放流、漁具の規制等を導入しており、資源管理・回復のための知識が豊富で、取組実績がある。 ・漁業経営、漁業協同組合の運営 泉大津漁業協同組合では、平成16年から監事を経験するなど、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れ、北部地区を代表する人物といえる。 以上のことから、大匠海区漁業調整委員会の委員として適任と考える。	
団体推薦	津本秀孝	52	男	漁業	昭和63年11月～現在 平成15年6月～現在	堺市沿岸漁業協同組合正組合員 堺市沿岸漁業協同組合理事	該当	刺網漁業	大阪府地先海面	堺市				・漁業に関する意見と実績 34年間、刺網漁業に従事し、地区の漁業の状況をよく理解している。 また、播量や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事業について、正しく判断する力を備えている。 ・水産資源管理に関する意見と実績 組合員となつて以降、各資源管理委員会に属するとともに、資源管理のため選休日制、禁漁期、漁業規制の規制等を導入しており、資源管理・回復のための知識が豊富で、取組実績がある。 ・漁業経営、漁業協同組合の運営 堺市沿岸漁業協同組合では、平成15年から現在まで理事を経験し、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れ、北部地区を代表する人物といえる。 以上のことから、大匠海区漁業調整委員会の委員として適任と考える。	
団体推薦	樋口正明	55	男	漁業	昭和56年4月～現在 平成18年6月～現在 令和元年6月～現在	尾崎漁業協同組合正組合員 尾崎漁業協同組合理事 尾崎漁業協同組合副組合長	該当	さくら網漁業	大阪府地先海面	阪南市				・漁業に関する意見と実績 40年間さくら網漁業に従事し、地区の漁業の状況をよく理解している。 また、播量や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事業について、正しく判断する力を備えている。 ・水産資源管理に関する意見と実績 昭和60年から資源管理さくら網漁業管理委員会に属するとともに、資源管理のため選休日制、禁漁期、漁具の規制、中閉育成等を導入しており、資源管理・回復のための知識が豊富で、取組実績がある。 ・漁業経営、漁業協同組合の運営 尾崎漁業協同組合では、平成16年から理事を経験し、引き続き令和元年から2年間副組合長を経験するなど、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れ、南部地区を代表する人物といえる。 以上のことから、大匠海区漁業調整委員会の委員として適任と考える。	

2. 学識経験者委員(定数3人)

推薦または応募の別	氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者及び応募者				推薦をした者					推薦又は応募の理由	
					経歴	漁業に関する識見を有すると認められる資格、実務経験等	漁業者等該当	漁業経営の状況			法人又は団体の名称及び代表者氏名(個人の場合は氏名、性別)	構成員の資格・要件等(個人の場合は職業、年齢)	構成員の数(法人又は団体の場合)		法人又は団体の活動目的
								漁業種類	主な漁業区域	住所又は事業場を有する地区					
団体推薦	今井一郎	68	男	大学名誉教授	昭和55年4月 水産庁南西地区水産研究所 平成25年6月 同 赤瀬生物研究室 平成6年10月 京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻・助教 平成8年4月 京都大学大学院農学研究科応用生物学専攻・助教 平成19年4月 京都大学大学院農学研究科応用生物学専攻・准教授 平成21年4月 北海道大学大学院水産科学研究科海洋生物資源科学部門教授 平成28年4月 同 特任教授 平成30年3月～現在 瀬戸内海広域漁業調整委員会会長 平成30年4月～現在 北海道大学名誉教授 平成31年12月～現在 大阪府漁業調整委員会委員 平成31年3月～現在 大阪府豊かな漁づくり推進プラン懇話会会長 令和元年6月～現在 公益財団法人大阪府漁業振興基金理事	経歴のとおり	該当しない			北海道大学 大学院水産科学研究科 院長 本村博雄	教職員	3925人 (令和2年10月1日現在の大学全 体の教職員数。 ただし、外国人は 除く。)	大学の教育研究に 対する国民の要請に 応じて、現職の大学全 体の教職員数。また、 我が国の高等教育 及び学術研究の水準 の向上と均衡ある 発展を図ること	・有者・有者プランクtonの生態や防除技術等の研究の推進であり、瀬戸内 海の漁業についても精通している。 ・また、「瀬戸内海広域漁業調整委員会」会長、「大阪府漁業調整委員 会」委員、「大阪府豊かな漁づくり推進プラン懇話会」会長及び「大阪府 漁業振興基金」理事等も兼任し、漁業調整や資源保護諸地区行政に熟知 するとともに、各種委員会の会長職として企画を安定的に運営する実 績を上げている。 以上のことから、大阪府漁業調整委員会の委員として選任と考える。	
団体推薦	岡 修	70	男	漁業	昭和43年4月 専水漁業協同組合正組合員 同 大阪府漁業協同組合正組合員 平成17年6月 専水漁業協同組合理事 平成23年9月 大阪府漁業協同組合代表理事組合長 同 大阪府漁業協同組合連合会理事 平成28年6月～現在 大阪府漁業協同組合連合会代表理事 平成28年8月～現在 瀬戸内海広域漁業調整委員会委員 平成28年9月～現在 大阪府漁業調整委員会委員 平成28年9月～現在 公益財団法人大阪府漁業振興基金代表理事 平成29年3月～現在 大阪府豊かな漁づくり推進プラン懇話会委員	経歴のとおり	該当	まき瀬漁業	大阪府地先海部 岸和田市	大阪府漁業協同組合連合会 専務理事 見玉 光剛 【正会員】 この連合会の地区の全部又は一部を地区と する漁業協同組合若しくは漁業協同組合連 合会又はこの連合会の地区内に住所を有する 漁業生産組合 【准会員】 次に掲げる者 (1)法律に基づいて設立された協同組合(連 合会を含む。)であつて、この連合会の正会員 の行う事業と関連する事業を行い、かつ、この 連合会の地区内に住所を有するもの (2)この連合会の正会員たる漁業協同組合又は 漁業協同組合連合会が主たる出資者又は 構成員となつていない法人(正会員及び(1)に掲 げる者を除く。)	24協協	委員が協同して経済 活動を行い、所員員 の漁業の生産増進 の向上等おける事業 の振興を図り、もつ て所員員の経済的 社会的地位を高める こと。 ・協同の発展漁業協同組合では、平成23年から理事を専任し、同年から9年 間、組合長を継続するなど、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れている。 ・また、大阪府漁業協同組合連合会では、平成23年から2年間理事を、平成 28年から4年間代表理事を専任し、大阪府の漁業を代表する人物である。 以上のことから、大阪府漁業調整委員会の委員として選任と考える。			
団体推薦	多田 悠	63	男	大学教員	昭和55年4月 農林水産省経済局統計情報部農林統計課 昭和56年4月 国際農林水産学研究所 昭和58年4月 農林水産省中央研究所農林統計部農林統計課 平成3年4月 四国農林試験場農産部経営管理研究室研究員 同主任研究官 平成7年10月 国際農林水産学研究所海外情報部主任研究官 平成10年2月 中央水産研究所経営経済部比較経済研究室主任研究官 平成12年4月 同比較経済研究室長 平成15年4月 国際農林水産学研究所海外情報部国際情報官 平成16年4月 同国際情報部長 平成20年4月～現在 近畿大学農学部水産学水産経済学研究室教授	経歴のとおり	該当しない		近畿大学農学部 学部長 江口克	教職員	9,671人 (令和2年5月1日 現在の大学全 体の教職員数。)	教育基本法及び学 校教育法に基づいて 行われる教育を行い、 優秀な人材を育成す るの精神に沿って、教 育理念である「人に 愛され、信頼され、 尊敬される人」を育 成すること。 ・また、同教授は国際漁業学(JIFRS)の前会長を務めたほか、農林 水産省本省、中央水産研究所、国際農林水産学研究所(JIRCAS) 等における行政研究経験が豊富であり、漁業経営にも十分に関連する 漁業や漁業調整など、水産物産に精通し、幅広い見地から大阪府漁業 調整委員会に尽力されることが期待される。 以上のことから、大阪府漁業調整委員会の委員として選任と考える。			

3. 中立委員(定数1人)

推薦または応募の別	氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者及び応募者				推薦をした者					推薦又は応募の理由	
					経歴	漁業に関する識見を有すると認められる資格、実務経験等	漁業者等該当	漁業経営の状況			法人又は団体の名称及び代表者氏名(個人の場合は氏名、性別)	構成員の資格・要件等(個人の場合は職業、年齢)	構成員の数(法人又は団体の場合)		法人又は団体の活動目的
								漁業種類	主な漁業区域	住所又は事業場を有する地区					
団体推薦	村上知子	50	女	弁護士	平成17年10月 大阪弁護士会入会 平成17年10月 大阪弁護士会 子どもの権利委員会委員 平成21年4月 大阪弁護士会 交通事故委員会委員 平成25年5月 アーラ大総合法律事務所開設 平成31年12月～現在 大阪府弁護士会男女共同参画推進本部委員 令和2年4月～現在 大阪府弁護士会男女共同参画推進本部事務局長	経歴のとおり	該当しない			大阪弁護士会 会長 川下清	弁護士、弁護士法人 等	弁護士4,697名 弁護士法人203 法人 外国特別会員 を(令和2年10月1 日現在)	弁護士の地位を授 けられ、弁護士事務 の振興を図るため、 弁護士会の指導 及び監督に関する 事務を行うこと ・弁護士の地位を授 けられ、弁護士事務 の振興を図るため、 弁護士会の指導 及び監督に関する 事務を行うこと ・また、今年4月からは、「男女共同参画推進本部」の事務局長に就任 し、活動の中核を担っている。 ・なお、これまで、大阪府漁業調整委員会の所事に関する事項について、 利害関係を持たない。 以上のことから、大阪府漁業調整委員会の中立委員として選任と考 える。		